

令和6年度森林づくり県民税活用事業 事業別予算執行及び取組進捗状況（3月末時点）

事業区分 事業名			事業概要	予算額 (千円)	執行額 (千円)	執行 率	目標及び実績			備 考 (執行・実績等に関する特記事項)
							基本方針の目標 (単位)	<R6年度>		
								目標	実績	
Ⅰ 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり				330,780	258,785	78%				
再造林の加速化	①-1	【人工造林・初期保育の嵩上げ】 主伐・再造林等の加速化を図るため、人工造林・下刈り等の初期保育を支援	161,580	130,861	81%	再造林面積 (ha)	420	238	57%	取組の進度に地域的な偏りが生じており、全県域での取組の推進に課題があるほか、地拵えまでは完了しているものの植栽を適期の春に実施する予定としている箇所が多数（88ha程度）あり、令和6年度の再造林（植栽）面積としては目標を下回った。
	①-2	【再造林省力化モデル推進事業】 再造林の省力化を図るために必要な架線の設置・撤去や自走式下刈り機のリース料等を支援	10,000	8,976	90%					
	うちR7へ繰越		(2,437)							
	①-3	【再造林推進シカ捕獲サポート】 再造林後の森林の確実な更新を図るための罠の見回りや機器の保守作業等を支援	3,000	589	20%					
	小計			174,580	140,426	80%				
防災・減災のための里山整備	②	未整備の里山のうち、防災・減災のための優先的に整備が必要な里山の間伐等の森林整備を支援	156,200	118,359	76%	間伐面積 (ha)	400	177	44%	事業の周知不足及びそれに起因する森林所有者との協定書締結の遅れから目標面積を下回った。
Ⅱ 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり				161,872	141,086	87%				
開かれた里山整備事業	③-1	より多くの県民が里山の森林に親しむことができるよう「開かれた里山」の整備を推進	56,000	54,436	97%	県民が広く親しめる 里山整備利用地域の 箇所数 (箇所)	10	13	130%	
	③-2	地域住民等による里山の森林管理体制を確立するため、整備・利用計画の樹立や資機材導入等の活動基盤整備を支援	23,472	23,212	99%					
	小計			79,472	77,648	98%				
あたりまえに木のある暮らし 推進事業	④-1	【広く県民が利用する施設等の木造・木質化】 民間施設等の木造・木質化等の支援、県有施設の木造・木質化等の推進	38,550	21,056	55%	木造・木質化等の箇所数 (箇所)	11	12	109%	保育施設や医療機関、県立図書館等の施設にて事業が積極的に活用され、目標を上回った。 箇所ごとの規模としては、木質化を行う施設や、小規模な施設も複数あり、箇所数に対して予算執行額は少額となっている。
	うちR7へ繰越		(3,973)							
	④-2	【木工体験の推進支援】 小中学生等を対象とした木工教室などの木工体験活動を支援	1,050	1,050	100%					
	④-3	【長野県産材C02固定量認証】 県産材を使用した建築物等のC02固定量の認証や工務店等に対する認証制度の広報活動を推進	400	306	77%					
小計			40,000	22,412	56%					
やまほいくのフィールド整備や 学校林の整備等	⑤	【信州やまほいく 認定団体保育環境等向上事業】 自然保育に係るフィールド等の整備を行う認定園に対し整備費用を補助	6,000	5,672	95%	フィールド整備の箇所数 (園)	8	7	88%	
	⑥	【学びと育ちの森づくり推進事業】 ※地域の里山や学校林を活用して行う森林環境教育を支援	8,710	7,683	88%	学校林整備等の箇所数 (箇所)	5	5	100%	
	小計			14,710	13,355	91%				
まちなかの緑・街路樹の整備	⑦	【まちなかの緑地整備事業】 信州まちなかグリーンインフラ推進計画に基づく街中の緑地整備を支援	4,000	4,000	100%	緑地整備の箇所数 (箇所)	2	2	100%	
	⑧	【まちなかの緑地保全事業】 街中の緑地保全の実施　＜県＞　（11,000千円） 【まちなかの緑地保全補助事業】 街中の緑地保全の支援　＜市町村＞（2,690千円）	13,690	13,671	100%	緑地の保全延長 (km)	6.4	6.2	97%	
	⑨	【観光地の景観整備（県単道路橋梁維持修繕費）】 景観形成のための街路樹の整備・植樹	10,000	10,000	100%	整備延長 (km)	5.8	5.8	100%	
	小計			27,690	27,671	100%				

事業区分			予算額 (千円)	執行額 (千円)	執行率	目標及び実績			備 考 (執行・実績等に関する特記事項)	
事業名	事業概要					基本方針の目標 (単位)	< R6年度 >			
							目標	実績		
Ⅲ 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業体への支援			52,056	41,506	80%					
森林サービス産業総合対策事業	⑩-1	【森林サービス産業活動支援事業】 健康・教育・観光等の多様な分野で森林空間を活用する取組を支援	24,959	22,141	89%	森林サービス産業に 取り組む 地域プロジェクト数 (プロジェクト)	10	10	100%	信州森林サービス産業推進ネットワークを創設し、関係事業者の横連携の強化、各種支援策の情報発信等により、地域の取組の支援している。 アドバイザー派遣による伴走支援や創業に係る経費の補助等により、マウンテンバイクやセラビーガイドの取組などを支援。
	⑩-2	【森林サービス産業人材育成支援事業】 森林セラビー基地等のガイド等の人材育成及び資質向上のための講座の開催等	5,892	5,836	99%					
	小計		30,851	27,977	91%					
	地球温暖化防止吸収源対策推進事業 (長野県森林CO2吸収評価認証制度)	⑩-3	森林の里親企業等から申請された間伐等実施地の森林CO2吸収量の評価審査及び認証	252	76	30%				
	信州ネイチャーセンター構築事業	⑪	自然観察インストラクターや自然公園施設を活用した取組をしている者を対象とした講習会や研修会の開催	2,000	1,999	100%	エコツーリズム ガイドの育成人数 (人)	5	8	
多様な林業の担い手確保育成事業	⑫	林業を支える裾野の担い手となる就業者の確保のために必要な経費を支援	18,953	11,455	60%	多様な林業に関わる 新規就業者数 (人)	40	—		小規模な事業者を対象とした安全福利厚生 の支援等の活用率が低調となっている。 (実績については現在調査中(9月頃集計予定))
Ⅳ 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決			215,350	212,676	99%					
市町村森林整備支援事業	⑬	【ライフライン等の保全対策】 ライフライン等保全のための支障木等の伐採	63,000	62,969	100%	整備箇所数 (箇所)	30	55	183%	
	⑭	【観光地の景観整備】 観光地の魅力向上に向けた森林整備	24,300	25,710	106%	観光地の 景観整備箇所数 (箇所)	20	24	120%	
	⑮	【緩衝帯の整備】 野生鳥獣による被害防止のための森林整備	28,000	32,565	116%	緩衝帯の 整備箇所数 (箇所)	38	37	97%	ツキノワグマによる人身被害の発生を受け、整備面積を拡大するなど1箇所当りの事業規模が当初より大きくなったため、執行額が計画を上回った。
	⑯	【森林の病虫害被害対策】 病虫害被害による枯損木の有効活用	60,000	51,382	86%	枯損木利活用材積 (㎡)	2,000	2,123	106%	
	⑰	【森林の病虫害被害対策】 森林外や未被害市町村での被害木処理等				被害木処理材積 (㎡)	1,080	470	59%	支援対象とする森林(森林外や松くい虫未被害市町村の森林内)での被害の発生が前年度と概ね同程度に留まった。
	小計		175,300	172,626	98%					
河畔林整備事業	⑱	市町村が管理する準用河川区域及びその周辺の河畔林のうち、市町村が行う防災効果の高い箇所での除間伐を支援	40,050	40,050	100%	整備箇所数 (箇所)	14	18	129%	
Ⅴ 普及啓発、評価検証			8,526	6,664	78%					
みんなで支える森林づくり推進事業	⑲	県民の理解を深めるための広報・普及啓発活動等	8,526	6,664	78%			-		
合 計 (a)			768,584	660,717	86%					
			うちR7へ繰越	(6,410)						

1

人工造林・初期保育の嵩上げ

補 市町村

1 事業の概要

2050ゼロカーボンの実現に向け、民有林人工林の8割が50年生を超える本県の森林がCO₂吸収機能を発揮できるよう若い森林への更新の加速化を支援するため、人工造林及び下刈り等の初期保育に対し補助率を嵩上げて森林所有者の負担を軽減することで再生林の加速化を図り、持続的な林業を推進する。

2 令和6年度事業の実施状況

(参考)

令和6年度事業計画		実績		第4期5年間の目標等	
事業計画		実績	(達成率)	目標	(実績(累積))
再生林面積	420ha	238ha	(57%)	2,900ha	(486ha)
当初予算	(千円)	執行額 (千円)		計画額 (千円)	
人工造林・初期保育の嵩上げ	161,580	130,861	(81%)	1,130,000	(237,546)



▲植栽 (大町市)



▲植栽 (信濃町)

■初期保育：下刈り (佐久市)



3 令和6年度事業の実施結果

- 主伐・地拵えまで完了しているものの植栽は翌春に行う予定地があること等から、目標面積には及ばないものの、伐後の人工造林及び地拵えや下刈り等の初期保育等に要する標準的な経費を10/10に上乗せして支援を行ったことにより、主伐後の再生林が行われた。

1 事業の概要

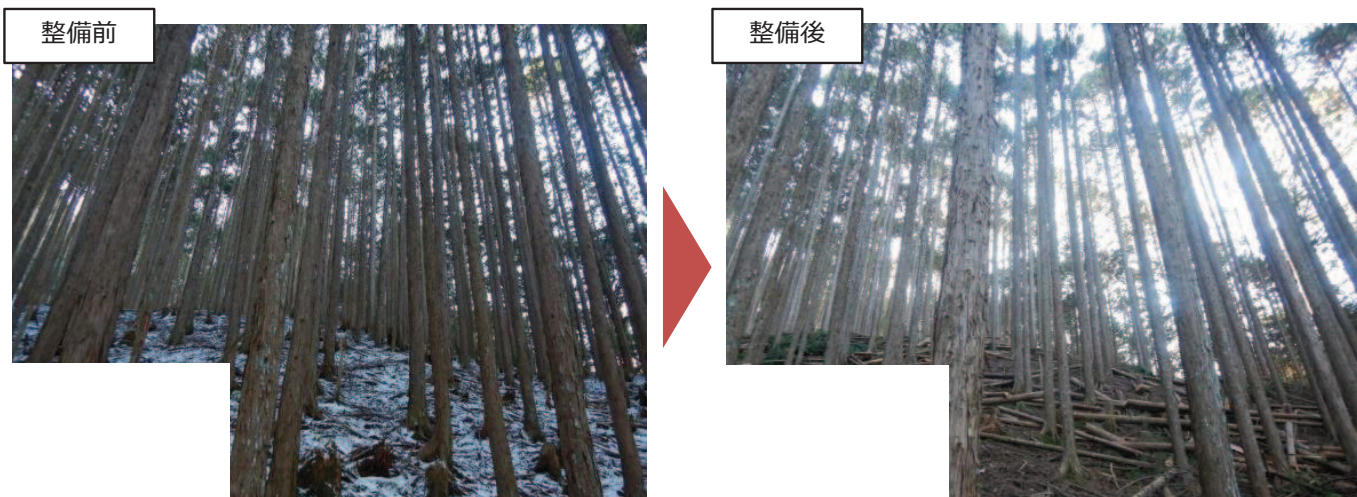
未整備の里山のうち、航空レーザー測量等の科学的知見を活用して人家等保全対象に近く、山地災害の危険性が高い箇所を絞り込み、防災・減災のために優先的な整備が必要な里山で行う間伐等森林整備を支援する。

2 令和6年度事業の実施状況

(参考)

令和6年度事業計画		実績		第4期5年間の目標等	
事業計画		実績	(達成率)	目標	(実績(累積))
里山の間伐面積	400ha	177ha	(44%)	1,600ha	(337ha)
当初予算	(千円)	執行額 (千円)		計画額 (千円)	
里山の間伐	156,200	118,359	(76%)	430,000	(209,395)

■ 保育間伐 (南木曽町)



■ 搬出間伐 (大町市)



3 令和6年度事業の実施結果

- 所有者との調整に時間を要し、実施取りやめ・翌年度へ見送りとなる箇所が発生したことにより、実績は目標面積を下回ったが、人家等に近接する山腹崩壊等の危険性が高い箇所での間伐等での森林整備が実施され、災害に備えた予防的対策が図られた。

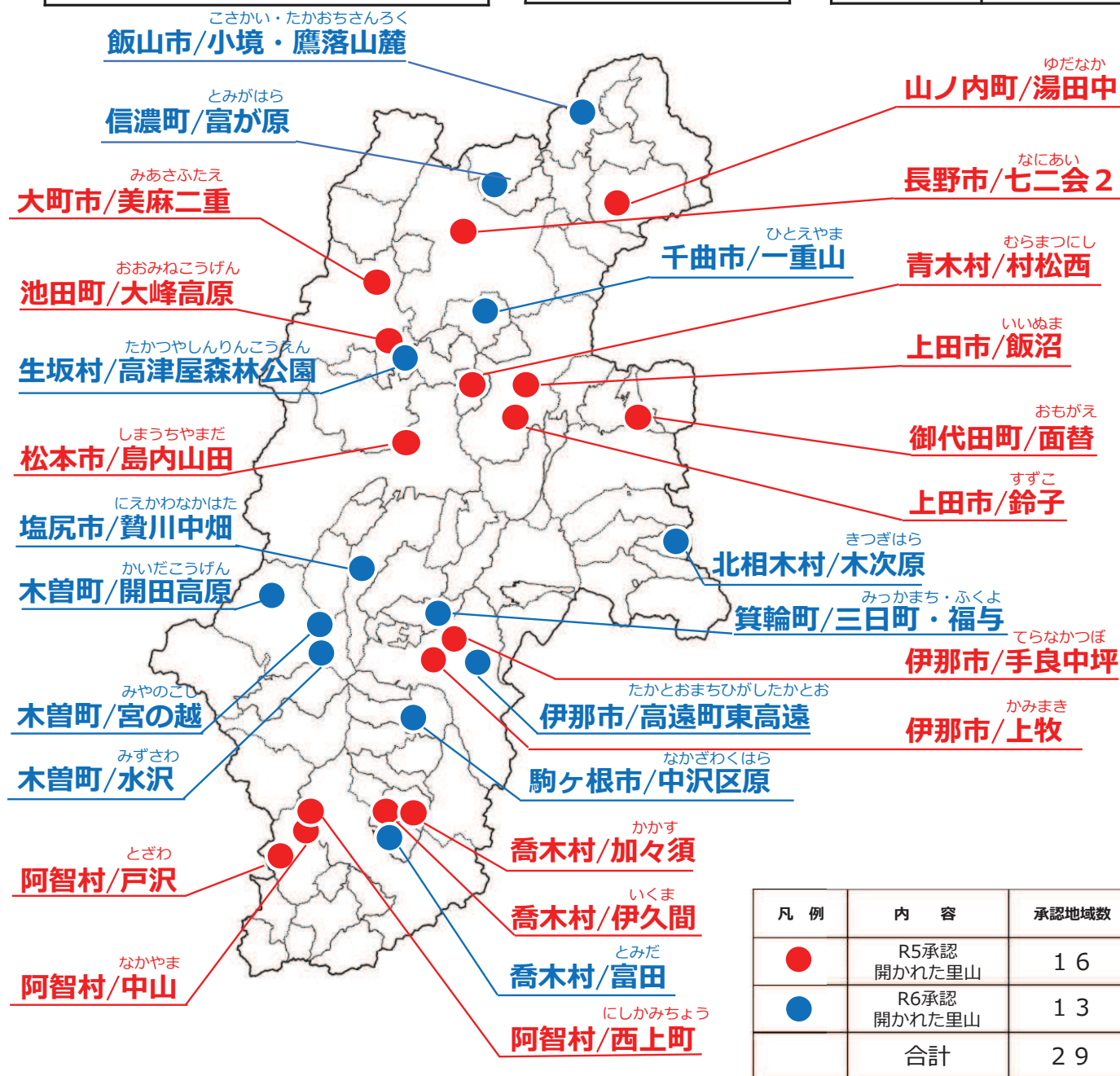
1 事業の概要

「里山整備利用地域」の取組を更に進め、多くの県民や県外から長野県を訪れる方が安心して気軽に利用できる「開かれた里山」の整備と仕組みづくりを支援する。

2 令和6年度事業の実施状況

(参考)

令和6年度事業計画		実績		第4期5年間の目標等	
事業計画		実績	(達成率)	目標	(実績(累積))
県民が広く親しめる 里山整備利用地域の数	10箇所	13箇所	(130%)	50箇所	(29箇所)
当初予算	(千円)	執行額 (千円)		計画額 (千円)	
開かれた里山の整備事業 ＜森林整備＞	56,000	54,436	(97%)	280,000	(105,940)
開かれた里山の整備・利用推 進事業＜地域活動の支援等＞	23,472	23,212	(99%)		



広く親しめる「開かれた里山」マップ (R7.3時点)



▲開かれた里山の整備事業（修景林間整備）
（木曽森林組合：木曽町開田高原地区）



▲開かれた里山の整備事業（修景林間整備）
（木曽森林組合：木曽町開田高原地区）



▲「開かれた里山」における取組事例
（面替地域里山整備利用協議会：御代田町面替地区）

- ・外部講師による「壊れない作業道づくり」の研修を実施し8名が参加。（1名は県外）
- ・研修を通じ、参加者の知識や技術が向上するとともに、里山整備への関心向上につながっている。
- ・複数回開催している現場見学ツアーでは、地域内外の多数の方が参加し、里山整備の理解醸成につながっている。



▲「開かれた里山」における取組事例
（七二会里山整備利用推進協議会：長野市七二会2地区）

- ・地域課題である放置竹林の整備を行うとともに、伐採した竹を利用し、児童・生徒や保護者等を対象に、竹ランタン作りのワークショップを5回開催し延べ87名が参加。
- ・その他、竹炭・竹粉を利用した土壌改良剤の作成等を地元高校と実施するなど、竹林整備も含めた体験活動や竹の活用を促進している。



▲県内の先行事例等の普及
（R7.3「開かれた里山」シンポジウム）



▲「開かれた里山」事例集及び掲載先
（長野県ホームページ）



3 令和6年度事業の実施結果

【開かれた里山の整備事業】

- 第3期まで取り組んでいた県民協働による里山整備を実施した箇所の継続的な下刈りの実施、開かれた里山内の景観の向上、安全性の確保のため修景林間整備を実施した。

【開かれた里山の整備・利用推進事業】

- 目標を上回る13の里山整備利用地域の「開かれた里山の整備・利用計画」を承認するとともに、承認を受けた地域等における「開かれた里山」の整備や利用に向けた取組を支援した。
- 県内において市町村や民間団体等が中心となって取り組んでいる「開かれた里山」の事例をまとめた「事例集」を作成し、普及に努めた。

1 事業の概要

県民の県産材利用に対する意識醸成を図るため、県民が多く訪れる施設の木造・木質化、子どもが行う木工体験の取組を支援し、「あたりまえ」に県産材が利用される環境づくりを進める。

2 令和6年度事業の実施状況

(参考)

令和6年度事業計画		実績		第4期5年間の目標等	
事業計画		実績	(達成率)	目標	(実績(累積))
広く県民が利用する施設等の木造・木質化	11施設	12施設	(109%)	55施設	(19施設)
当初予算	(千円)	執行額 (千円)		計画額 (千円)	
広く県民が利用する施設の木造・木質化	38,550	17,082	(44%)	192,750	(30,369)
木工体験の推進支援	1,050	1,050	(100%)	5,250	(2,100)
長野県産材CO2固定量認証制度の普及啓発	400	306	(77%)	2,000	(520)

※ 1施設 3,973千円をR7年度へ繰越

[木造・木質化]



▲診療所（外観）（宮田村）



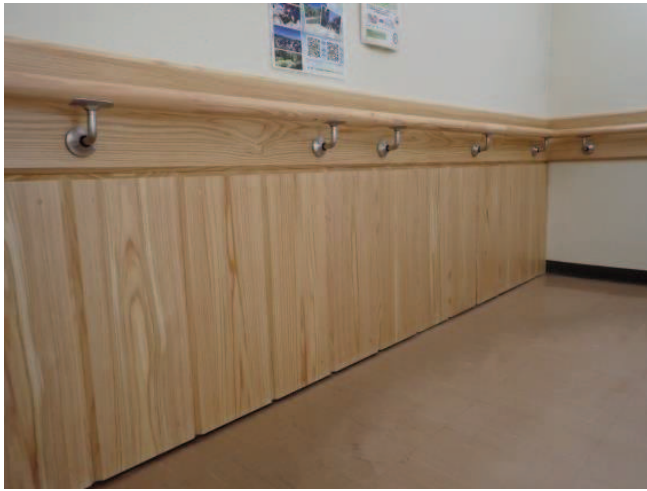
▲診療所（内観）（宮田村）



▲美容室（安曇野市）



▲佐久警察署浅科駐在所（佐久市）



▲松本合同庁舎（階段室）（松本市）

【木工体験】



▲木工工作コンクール



▲ながの森林・林業フェア（椅子づくりの体験）



▲信州 山の日イベント（椅子づくりの体験）

【長野県産材CO2固定量認証】



▲長野市 農業フェア（椅子づくりの体験）



▲天龍保育所（デッキテラス）（天龍村）
CO2固定量2.9 t

3 令和6年度事業の実施結果

【広く県民が利用する施設等の木造・木質化】

- 広く県民が利用する施設12箇所に木造・木質化等の支援・推進を行い、県民が身近に県産材に接することができる場を創出した。

【木工体験の推進支援】

- 小中学生等を対象とする木工教室や、木工工作に関するコンクール開催への支援を行い、3,995人の参加者を集めた。

【長野県産材CO2固定量認証制度】

- 県産材を使用した建築物等のCO2固定量を5件認証（12.5t）した。認証証書を発行し「県産材利用の環境貢献度」を周知することで、県産材利用や森林づくり県民税の普及啓発を行った。

1 事業の概要

信州の自然や地域資源を活用した屋外を中心とする様々な体験活動を通じて、子どもの感覚が豊かに刺激され、子どもの主体性、創造性、社会性、協調性等を育むことができる環境を整備して、信州やまほいく認定園における保育の質の向上を図る。

2 令和6年度事業の実施状況

(参考)

令和6年度事業計画		実績	第4期5年間の目標等	
事業計画		実績 (達成率)	目標 (実績(累積))	
フィールド整備箇所数	8箇所	7箇所 (88%)	40箇所 (15箇所)	
当初予算	(千円)	執行額 (千円)	計画額 (千円)	
やまほいく認定園のフィールド整備	6,000	5,672 (98%)	30,000 (11,472)	



▲整備前 道路整備 (松川町)



▲整備後 道路整備 (松川町)



▲整備前 危険木等伐倒 (飯田市)



▲整備後 危険木等伐倒 (飯田市)

3 令和6年度事業の実施結果

【やまほいく認定園のフィールド整備】

- 倒木の恐れのある危険木や枯れて落下の恐れのある枝の除去、間伐及び下刈り等によりフィールドを整備することで、子どもたちが安全に自然体験活動を行うことができた。

※「信州やまほいく（信州型自然保育）認定制度」・・・信州の豊かな自然環境や地域資源を積極的に取り入れた保育・幼児教育の普及を図るため、平成27年4月1日に制定。令和6年3月15日現在297園が認定されている。

1 事業の概要

森林に囲まれた環境で育つ長野県の子どもたちが、森林・林業に親しみを感じ、次世代の森林づくりの土台となる豊かな原体験や知識を得られるよう、学校林や地域の里山等の身近な森林の活用を推進する。

2 令和6年度事業の実施状況

(参考)

令和6年度事業計画		実績		第4期5年間の目標等	
事業計画		実績	(達成率)	目標	(実績(累積))
学校林整備等の実施箇所数	5箇所	5箇所	(100%)	30箇所	(24箇所)
当初予算	(千円)	執行額 (千円)		計画額 (千円)	
学校林の整備・利活用	6,200	7,683	(88%)	30,000	(13,324)
学校林の整備・利活用 (県)	2,510				



▲キハダの植樹活動 (木祖村)



▲ツリークライミング体験活動 (平谷村)



▲センサーカメラを設置し野生動物の観察 (伊那市)



▲間伐体験活動 (山形村)

3 令和6年度事業の実施結果

- 地域の里山や学校林を活用して行う森林環境教育を推進するため、森林環境教育フィールドの整備 (除間伐・危険木伐採等) や、森林環境教育活動 (資機材の導入、指導者の派遣) への支援を行い、目標箇所数を達成した。

1 事業の概要

都市において緑地を保全するとともに緑化を推進することにより良好な都市環境の形成を図り、健康で文化的な都市生活の確保に寄与するため、市町村及び民間団体等が行う森林を身近に感じられる市街地の緑地の整備を支援する。

2 令和6年度事業の実施状況

(参考)

令和6年度事業計画		実績		第4期5年間の目標等	
事業計画		実績	(達成率)	目標	(実績(累積))
緑地整備箇所数	2箇所	2箇所	(100%)	10箇所	(3箇所)
当初予算	(千円)	執行額 (千円)		計画額 (千円)	
まちなかの緑地の整備	4,000	4,000	(100%)	23,000	(5,000)

■ 緑地整備 (千曲市 (仮)長野電鉄屋代線旧東屋代駅跡地広場)



整備前

整備前



整備後

整備後



整備前

整備前



整備後

整備後

空き地となっていた場所に緑地を整備することで、住民の憩いの場を創出した

3 令和6年度事業の実施結果

- 千曲市の長野電鉄屋代線旧東屋代駅跡地を緑地整備することで、緑あふれる憩いの場を創出するとともに、周辺の都市施設と調和が取れた緑地整備を実施することで、良好な都市環境の形成に寄与した。

1 事業の概要

都市において緑地を保全することにより良好な都市環境の形成を図り、健康で文化的な都市生活の確保に寄与するため、県及び市町村が行う森林を身近に感じられる市街地の緑地の整備を実施・支援する。

2 令和6年度事業の実施状況

（参考）

令和6年度事業計画		実績		第4期5年間の目標等	
事業計画		実績	(達成率)	目標	(実績(累積))
緑地の保全延長	6.4km	6.2km	(97%)	32km	(10.7km)
当初予算	(千円)	執行額 (千円)		計画額 (千円)	
まちなかの緑地の保全	13,690	13,671	(99%)	67,000	(23,702)

■街路樹の剪定による緑地保全（長野市 長野大通り線）



■街路樹の剪定による緑地保全（長野市（主）長野菅平線）



3 令和6年度事業の実施結果

- グリーンインフラの取組を推進するためのエリアビジョンに位置付けられた路線における街路樹の剪定を実施することにより、通風・採光をよくして樹勢を強くするとともに、樹形を整え、樹種本来の美しさを発揮させ、良好な都市環境の形成に寄与した。

1 事業の概要

山岳高原リゾートを形成する観光地周辺等の街路において、景観形成のための街路樹の整備する。

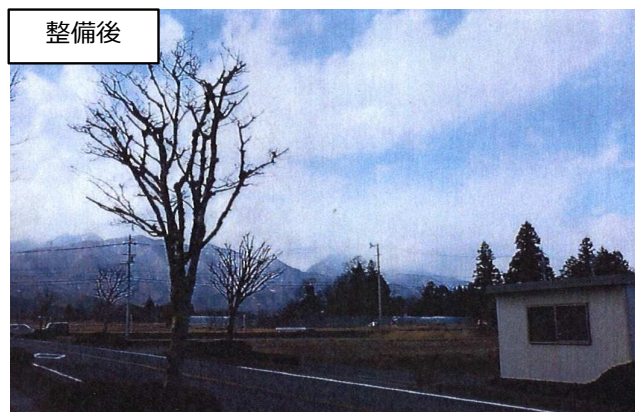
2 令和6年度事業の実施状況

令和6年度事業計画		実績		(参考)	
事業計画		実績	(達成率)	目標	(実績(累積))
整備延長	5.8km	5.8km	(100%)	20.0km	(9.2km)
当初予算	(千円)	執行額 (千円)		計画額 (千円)	
景観形成のための街路樹整備等	10,000	10,000	(100%)	50,000	(20,000)

■ 観光地の景観整備 (長野市)



■ 観光地の景観整備 (安曇野市)



3 令和6年度事業の実施結果

- 剪定することで明るくなり、観光地としての景観を形成した。
- 事業実施中は、道路上に森林づくり県民税を活用していることがわかる看板を設置し、通行者への周知を図り理解の促進に取り組んだ。

1 事業の概要

森林を活用した交流人口の増加や地域の活性化を図るため、地域や企業等による森林整備の支援及び森林を活用した癒しガイド、地域活性化のコーディネーターの育成等により、里山における森林資源の多面的な利用を促進する。

2 令和6年度事業の実施状況

令和6年度事業計画		実績		(参考)	
事業計画		実績	(達成率)	目標	(実績(累積))
森林サービス産業に取り組む地域プロジェクトの数	10PJ	10PJ	(100%)	50PJ	(20PJ)
当初予算	(千円)	執行額 (千円)		計画額 (千円)	
森林空間整備・施設整備	15,910	14,972	(94%)	115,500 (31,565)	
創業支援・地域活動支援	7,914	6,733	(85%)		
森林の里親契約マッチング支援	1,135	436	(39%)	34,500 (11,275)	
森林サービス産業人材育成支援	5,892	5,836	(99%)		
C o 2吸収量認証	252	76	(17%)	2,285 (128)	

創業セミナー・交流会



▲ 森林サービス産業の創業のノウハウや先進事例を学ぶ創業セミナー（約60名が参加）



▲ 地域おこし協力隊が森林の利活用の手法について学ぶ研修交流会（約20名が参加）

森林空間整備・施設整備



▲森林セラピー基地（阿智村） バイオマストイレの設置

企業連携（森林の里親制度）

森林（もり）の里親契約（R6：8件）



▲森林（もり）の里親契約 調印式
（東海旅客鉄道㈱×飯田市×飯伊森林組合）

支援者	受け入れ者
セイコーウォッチ	佐久穂町
川口市	立科町
ひかり味噌（株）	（一財）C.W. ニコル・アフアの森財団
エルセラーン（株）	（一財）C.W. ニコル・アフアの森財団
粕江市	小諸市
レゾナックホールディングス	長畑森づくり協議会
K P Pグループホールディングス	（一財）C.W. ニコル・アフアの森財団
東海旅客鉄道（株）	飯田市

森林サービス産業人材育成事業



▲森林利活用コーディネーター
育成研修（軽井沢町）



▲山菜栽培技術研修会（千曲市）



▲チェーンソー目立て
技術実習（青木村）

<信州森林サービス産業推進ネットワーク>

■ネットワークの支援策



加入 ↑ ↓ 情報提供

- <会員> 事業者、利用者(個人)、市町村 等
- <要件> 森林サービス産業に関心のある者
- <会費> 無料

事業内容

- ・創業セミナー、事業者交流会
- ・地域おこし協力隊スキルアップ講座
- ・森林の癒しガイド人材、
森林利活用コーディネーター育成講座
- ・メルマガによる情報発信



森林の利活用に関心のある者同士の交流の促進、人材育成、伴走支援等により、地域の主体的な取組を後押し

3 令和6年度事業の実施結果

- 森林サービス産業に取り組む事業者や関心のある者同士が交流と情報交換を行うとともに、人材育成等の支援を行う「信州森林サービス産業推進ネットワーク」を設立し、地域の主体的な活動を支援した。
- 森林セラピー基地等への環境整備の支援（11箇所）、森林の利活用に関する人材育成研修（5回）等により、意欲的に森林サービス産業に取り組もうとする地域（10地域）を掘り起こした。
- 長野県森林づくり条例に基づく里山整備利用地域の活動を推進するため、里山利用のリーダー的な役割を果たす人材の育成や、整備を実践する地域住民に対する林業技術習得のための研修を実施した。

1 事業の概要

森林をはじめとした自然環境を持続的に活用し、中長期的に質の高いサービスを提供できるエコツーリズムガイドを育成し、自然体験の機会の充実を図る。

2 令和6年度事業の実施状況

令和6年度事業計画		実績		(参考)	
事業計画		実績	(達成率)	目標	(実績(累積))
エコツーリズムガイドの育成人数	5人	8人	(160%)	25人	(14人)
当初予算	(千円)	執行額 (千円)		計画額 (千円)	
自然観察インストラクター等に向けた講習・研修会の開催等	2,000	1,999	(100%)	10,000	(3,899)



▲ガイド技術の専門知識・経験を有する講師による講義の様子（長野県乗鞍自然保護センター）



▲創造的な自然解説プログラムの企画立案（グループワーク）



▲企画立案をもとにフィールドでガイド実践（一の瀬園地・まいめの池）



▲他のグループの模擬ツアーに参加し、解説の方法等を学び合う様子（一の瀬園地・まいめの池）

3 令和6年度事業の実施結果

○長野県内をフィールドにガイド活動をする意欲のある18歳以上の者を対象としてエコツーリズムに関する知識やガイド実践技術に関する研修会を、長野県乗鞍自然保護センター及び一の瀬園地（まいめの池）において3日間開催した。

○参加者29名（申込者37名）のうち、大学院生等の中長期的な活動が見込める世代の参加者は8名あり、講習会後のアンケート調査では、共通の目的意識を持った多様な世代との交流や情報共有によって、ガイドとして活動する将来像が具体化した、または契機となったという意見があった。

1 事業の概要

職業としての林業の関心を高め、林業の就業希望者の裾野を広げるため、広報活動、学校教育等の機会を通じ、森林・林業の多面的な役割や林業就業者の重要性、林業の魅力について若者を含めた県民の関心及び理解を促進する。加えて、地域の需要に柔軟に対応できる小規模事業体に対して、新規就業の促進や就業環境改善等の支援を行うことで、安全で働きやすい職場環境の整備を促進する。

2 令和6年度事業の実施状況

(参考)

令和6年度事業計画		実績		第4期5年間の目標等	
事業計画		実績	(達成率)	目標	(実績(累積))
多様な林業に関わる新規就業者数	40人	調査中	(—)	200人	(75)
※9月頃実績確定見込					
当初予算	(千円)	執行額 (千円)		計画額 (千円)	
林業の認知度向上対策	8,182	9,052	(110%)	100,000 (17,493)	
新規就業者の確保促進	5,615	803	(14%)		
安全福利厚生対策	3,431	377	(10%)		
外国人材就林検討	516	34	(6%)		
一人多役による林業連携	1,209	1,188	(98%)		



▲県民ホールにおける林業PR（長野県庁）



▲イベントにおける林業機械展示（長野市）



▲農業と連携した人材確保の取組（佐久市）



▲伊那農業高校における林業学習（伊那市）

3 令和6年度事業の実施結果

- 長野県の林業情報を発信するポータルサイト（ながの森ジョブ.BASE）を構築し、より統一的に情報を発信する環境を整備した。また、長野市表参道秋まつり等のイベントを通じて、子ども・若者をはじめ広く県民に林業のPRを行うことによって、林業の認知度向上に努めた。
- 新規就業にあたり必要となる資機材や装備品等の準備費用や安全装備等の導入及び蜂アレルギー検査受診や振動病特殊健診受診など就業環境の改善を図る林業事業体を支援することで、新規就業の促進及び安心して働ける職場環境の整備を促進した。
- 主伐後の再生林における人材不足解消に向けて、地域のお他産業（農業及び福祉）と連携した兼業・副業等による植栽作業を担う人材確保を目指したモデル的な取り組みが見られた。

1 事業の概要

ライフライン沿いの森林整備や鳥獣被害を防止するための緩衝帯整備など、各地域の住民生活に直結する個別の課題を迅速に解決するため、市町村が実施する課題解決のための森林整備の取組を支援する。

2 令和6年度事業の実施状況

(参考)

令和6年度事業計画			実績		第4期5年間の目標等	
事業計画			実績	(達成率)	目標	(実績(累積))
①ライフライン等の保全対策	30箇所	▶	55箇所	(183%)	150箇所	(114箇所)
②観光地の景観整備	20箇所	▶	24箇所	(120%)	100箇所	(52箇所)
③緩衝帯の整備	38箇所	▶	37箇所	(97%)	100箇所	(57箇所)
④病虫害枯損木の利活用材積	2,000m ³	▶	2,123m ³	(106%)	10,000m ³	(2,955m ³)
⑤病虫害被害木処理材積	1,080m ³	▶	470m ³	(44%)	5,400m ³	(941m ³)
当初予算	(千円)		執行額 (千円)		計画額 (千円)	
①ライフライン等の保全対策	63,000	▶	62,969	(104%)	200,000	(132,408)
②観光地の景観整備	24,300	▶	25,710	(144%)	200,000	(108,192)
③緩衝帯の整備	28,000	▶	32,565	(204%)		
④病虫害枯損木利活用材積	60,000		51,382	(48%)	300,000	(80,441)
⑤病虫害被害木処理材積		▶				

■ ライフライン等の保全対策 (筑北村 坂井)



■ 観光地の景観整備 (王滝村 十二権現)



■緩衝帯の整備 （御代田町 塩野）

整備前



整備後



■森林の病虫害被害対策＜枯損木の利活用＞ （安曇野市 豊科田沢）

整備前



整備後



事業実施箇所でのPR

（小諸市 飯縄山公園）

観光地等の景観整備を活用して、眺望の確保のための森林整備を実施。

ビューポイントには、森林税が活用されていることが分かるよう、旗の設置などにより、効果的にPRが行われている。

3 令和6年度事業の実施結果

【ライフライン等の保全対策】

- 目標を上回る箇所で主要道路や電柱・配電線などに近接し、倒木により通行支障や停電を発生させる危険性の高い危険木の伐採が実施され、災害に備えた予防的対策が図られた。

【観光地の景観整備】

- 高速道路沿線の景観（枯損木）対策や眺望確保のための森林整備が行われ、魅力向上が図られた。

【緩衝帯の整備】

- 令和5年度及び令和6年度のツキノワグマによる人身事故の発生などを踏まえた緊急的な対策等にも事業が活用され、集落や農地に近接する林沿部や通学路沿いにおいて見通しが確保される等、野生動物が出没しづらい環境整備が図られた。

【森林の病虫害被害対策】

- 森林病虫害被害により枯損したアカマツ等について、目標を上回る量の枯損木が処理され、燃料材等として有効に利活用された。
- 松くい虫による被害木の巡視等をはじめ、迅速な伐倒・燻蒸等の処理が行われ。被害拡大防止の取組が進められた。

1 事業の概要

河川区域内(官地)に隣接する河川区域外(民地)の立木〔河畔林〕は、所有者の手入れが行き届かず、密生した細く倒れやすい木が豪雨時に流れて、橋梁部で川をせき止めるなど、洪水被害を大きくする恐れのある箇所があることから、市町村が行う河畔林の除間伐を支援し、洪水時の流出木を減ずることで、洪水被害の未然防止・軽減を図る。

2 令和5年度事業の実施状況

(参考)

令和6年度事業計画		実績		第4期5年間の目標等	
事業計画		実績	(達成率)	目標	(実績(累積))
整備箇所数	14箇所	18箇所	(129%)	70箇所	(37箇所)
当初予算	(千円)	執行額 (千円)		計画額 (千円)	
河畔林の除間伐への支援	40,050	40,050	(100%)	200,000	(78,560)

■ 河畔林の整備（駒ヶ根市）

整備前



整備後



■ 河畔林の整備（中川村）

整備前



整備後



3 令和6年度事業の実施結果

- 市町村が管理する準用河川区域とその周辺の河畔林のうち、市町村が行う防災効果が高い箇所での除間伐の支援を行ったことにより、県各地で河畔林の整備が行われ、洪水被害のリスク軽減が図られた。
- 年度当初の目標箇所数を達成したものの、被害発生のリスクのある箇所は各地に存在することから、引き続き河畔林整備を支援する。

1 事業の概要

森林の役割や森林づくりの重要性等について、県民の理解を深め、多様な主体による森林づくりを促進するため広報・普及啓発活動を実施するとともに、県民会議、地域会議による税活用事業の評価・検証を行う。

2 令和6年度事業の実施状況

(参考)

令和6年度事業計画		実績	第4期5年間の目標等	
事業計画		実績	目標	(実績(累積))
使途の認知度	40%	26%	40%	
当初予算	(千円)	執行額 (千円)	計画額 (千円)	
森林税の普及啓発	8,526	6,664 (78%)	40,000	(12,669)



▲里山看板



▲WEB広告



▲PR用マグネット



▲駅前ビジョン



▲イベントでの広報（上田地域）

▲広報物品の制作・設置（本庁ほか）



▲地域広報誌等への掲載（佐久地域ほか）



▲地域会議・現地調査（長野地域）



3 令和6年度事業の実施結果

- 地域情報誌やイベント開催、看板等の物品制作・設置によるPRなど、様々な媒体・方法で森林税の使途の認知度向上が図られるよう努めた。
- 県政アンケート結果を基に、今後はより県民が受動的に情報を受け取ることができるプッシュ型の広報を実施する。
- 県民会議及び地域会議を実施し、意見を取り入れながら事業執行を行った。